Internet Corporation for Assigned Names & Numbers
契約上のコンプライアンス 2015 年度年次報告

ICANN

2015 年度年次報告

http://www.icann.org/en/resources/compliance

目次 [1]

I. 2015 年度の概要
II. 2015 年度レジストラの契約遵守の概要
III. 2015 年度レジストリの契約遵守の概要
IV. 契約遵守のリスクと監査の更新情報

I. 2015 年度の概要

契約遵守担当副理事長からのご挨拶

ICANN のコンプライアンスチームにとっての 2015 年は、「ICANN の契約遵守をテストし、推進」した 1 年でした。簡単に言えば、2015 年は引き続きコンプライアンスチームの拡張性と継続的に改善していく能力が試された忙しい一年でした。

新たに約 878 の gTLD が委任され、約 600 の ICANN レジストラが認定されました。契約遵守の範囲は、2014 年は 433 の gTLD と 1,460 のレジストラでしたが、2015 年は 1,169 の gTLD と 2,100 レジストラに拡大しています。これは、コンプライアンスチームが契約遵守に関する問題に対する戦略的・分析的なアプローチを改善し続けていく中で、チームの拡張性が試されるテストとなりました。

コンプライアンスチームは、レジストラまたは他のレジストリとの交差所有を宣言するレジストリオペレータを含め、700 件を超える見込みレジストリオペレータの契約遵守チェックを実行しました。また、契約更新または新規契約に関連したレジストラ関連の契約遵守チェックを約 725 件実行しました。監視および苦情処理への取り組みを強化したことに加え、そうした変化の影響が問題の複雑化でも見られました。2015 年度の苦情件数は前年度に比べ 20%増加しました。

[1] この更新情報は、情報提供のみを目的として提供されています。この更新情報に含まれる情報を基に結論を下したり、ビジネス上の意思決定を行ったりしないでください。

3 年監査プログラムは、範囲内のレジストラおよびレジストリ全体で平均 92%の契約遵守を達成して完了しました。2013 RAA に対応して新たな監査の取り組みが開始されました。また、新たなレジストリ契約の再実施が完了しました。

コンプライアンスチームは、透明性および説明責任の改善と促進を継続しました。たとえば、ICANN.org の監査ページが更新され、コミュニケーションテンプレートや契約別の監査プログラム計画ガイドといった新情報が表示されるようになりました。また、このページは 8 つの異なる言語で情報が提供されており、グローバル化が推進されました。その他にも、コミュニティからのフィードバックに基づいた苦情処理およびレポート作成の改善、契約当事者へのアウトリーチの強化、契約遵守への意識・知識の向上のためのキャンペーンなどの活動が完了しました。

上記の活動の詳細については、契約遵守に関するページ（https://www.icann.org/resources/pages/compliance-2012-02-25-en）および ICANN のポートフォリオ管理システム（https://features.icann.org/plan）を参照してください。

変化の時が迫ってきています。変化に伴って多くの機会や学びがもたらされるはずです。私を含めコンプライアンスチームは、「信頼される契約遵守サービスプロバイダになる」というビジョンの実現に全力で取り組みます。

敬具
マグイ・セラド

コンプライアンスチーム責任者からのご挨拶

コンプライアンスチームは、契約遵守の監視と監査、拡張性の強化、そして契約遵守に関する問題の戦略的・分析解決の向上に取り組むことに加えて、契約の解釈と実施に関してだけでなく、ICANN の責任や権限の範囲に含まれない問題の自主的解決の促進において ICANN が果たし得る役割に関して、契約当事者を始めとする ICANN コミュニティとの対話を活性化しました。

この自主的解決が他の業界で果たしてきた役割について協議し、困難な問題の解決につなげるため、また、こうした活動がドメイン名産業における自主的解決のモデルになり得ることを ICANN コミュニティメンバーが検討するよう促すため、ICANN 54 会議を開催しました。ICANN が悪用や不正行為という問題の解決策にはなり得ないことは理解していますが、インターネットエコシステムにおける他社とのパートナーシップで役割を果たすことは可能です。

私達は引き続き、透明性および説明責任のために専心していきます。また、ICANN のマルチステークホルダーコミュニティの信頼を獲得すべく尽力し続けます。

敬具
アレン・R・グローガン

決算概要

2016 年度の契約遵守予算は 21.7%増加し、460 万ドルとなりました。資金は、新たなスタッフの雇用、契約遵守のための監査の実施、および増加した間接費に充当されました。ICANN のチームおよびインフラストラクチャが強化された結果、共有サービス部門からのサポートが 0.6%増加し、240 万ドルとなりました。

単位：千米ドル	FY16 予算	FY15 実績	増加/（減少）		コメント	FY14 実績
コンプライアンス部門の予算	$4,635	$3,809	$826	21.7%	コンプライアンス部門の運用コストで、人件費、出張費・会議費、専門サービス費、および管理費に充てられます。増加の原因は、正規職員、出張、およびシステム改善のプロジェクトの増加です。	$3,164
共有リソース	$2,430	$2,416	$14	0.6%	他の部門（IT、会議の手配、経理、人事、総務など）からのサポート	$2,118
契約遵守の活動の総合的機能	**$7,064**	**$6,225**	**$840**	**13.5%**		**$5,282**

ICANN の 2016 年度予算の詳細については、下記のリンクにアクセスしてください。http://www.icann.org/en/about/financials

ICANN の会議とアウトリーチ

コンプライアンスチームは、ICANN の 52 回、53 回、54 回の意見交換会に出席しました。コンプライアンスチームは、標準の 3 セッションを開催し、他のステークホルダーグループに加入し、レジストラおよびレジストリオペレータとの直接会議を実施し、数多くのセッションとディスカッションに参加しました。

念のため記しておきますが、標準の 3 セッションとは、水曜開催の契約遵守プログラム最新情報のセッションと、木曜開催のレジストラアウトリーチのセッションとレジストリアウトリーチのセッションです。最初のセッションではさまざまな ICANN コミュニティメンバーが集い、最新情報を交換したり、質問や懸念を直接コンプライアンスチームに、また相互に投げ掛けたりするものです。木曜日の 2 つのセッションは「非公開」の会議で、前回の公開会議以降に得られた教訓について協議するものです。

コンプライアンスチームは、9 月に開催された GDD Summit、ならびにグローバルステークホルダーエンゲージメント（GSE）およびグローバルドメインディビジョン（GDD）と共同で数多くのアウトリーチにも参加しました。

2015 年に開催されたセッションの詳細については、下記のアウトリーチのページを参照してください。https://www.icann.org/resources/compliance/outreach

契約遵守に関するオンライン学習

2015 年、ICANN は契約遵守に関する知識向上のための取り組みを開始しました。このイニシアチブから 2 つの成果物が生まれました。1 つは、ドメイン名登録の問題に関して ICANN コンプライアンスチームが提供する支援を概説したビデオ「契約遵守について」です。もう 1 つは、苦情の範囲と主要当事者を明確化した「契約遵守に関する苦情について」という図表です。このビデオと図表は、アラビア語、中国語、英語、フランス語、日本語、韓国語、ロシア語、スペイン語の 8 か国語で提供されています。

ICANN のコミュニケーションチームは、このイニシアチブに対する認識を高めるため、言語、国、ドメイン名保有者別に対象者を絞ったキャンペーンを 10 月と 12 月に実施しました。その第一段階であるソーシャルメディアキャンペーンは、YouTube と Facebook の閲覧回数の増加を目標としました。第二段階では、契約遵守の Web ページへのアクセスを増やすことを目標としました。

契約遵守のビデオを用いたキャンペーンの成果を要約すると、次のようになります。

- 閲覧総数：116,616 回
- 全プラットフォーム（8 か国語すべてを含む）を通じて、過去 2 番目に閲覧数が多い ICANN のビデオ

ご覧になるには、以下の契約遵守に関する Web サイトにアクセスしてください。https://www.icann.org/resources/pages/compliance-2012-02-25-en

その他の改善と取り組み

2015 年コンプライアンスチームは、継続的な改善を目的としたコミュニティからのフィードバックやスタッフからの提案に基づいて、プロセス、コミュニケーション、およびシステムに対して数多くの改善を施しました。その一覧については、下記の付録 A をご覧ください。

受領時に解決され、最初の問い合わせまたは通知をレジストラまたはレジストリオペレータに送付する必要がない苦情の件数が報告されるように、月次ダッシュボードも改善されました。たとえば 2015 年には、ICANN に寄せられた苦情の合計件数は 48,106 件で、そのうち、ICANN が解決し、最初の問い合わせまたは通知をレジストラに送信する必要がなかった苦情は 20,233 件でした。苦情は、最初の問い合わせまたは通知が契約当事者に送信される前に解決されることがあります。これは特に、苦情が無効であるか、または契約当事者が問題をすでに解決したと判断された場合に起こります。

ICANN はまた、無効な苦情、および契約当事者に転送されるべきではなかった苦情の通知または問い合わせを特に追跡できるよう、指標も導入しました。上記に

該当する苦情には、それぞれ「最初の通知/問い合わせの前に解決」、「ICANN の問題」というラベルが付けられます。

2015 年の「ICANN の問題」には、次のようなものがありました。

- 重複する通知が誤って送信された
- 最初の通知/問い合わせが送信された後に、苦情申立人から最新情報を受け取った
- 最初の通知/問い合わせが送信された後に、ICANN ベンダーから最新情報を受け取った
- 最初の通知/問い合わせが送信された後に、コンプライアンスチームとこれまで共有されていなかった契約当事者から最新情報を受け取った

2015 年、解決コードが「ICANN の問題」であった 56 件のチケットが解決されました。

以下のパフォーマンス測定と報告のページをご覧ください。https://features.icann.org/compliance

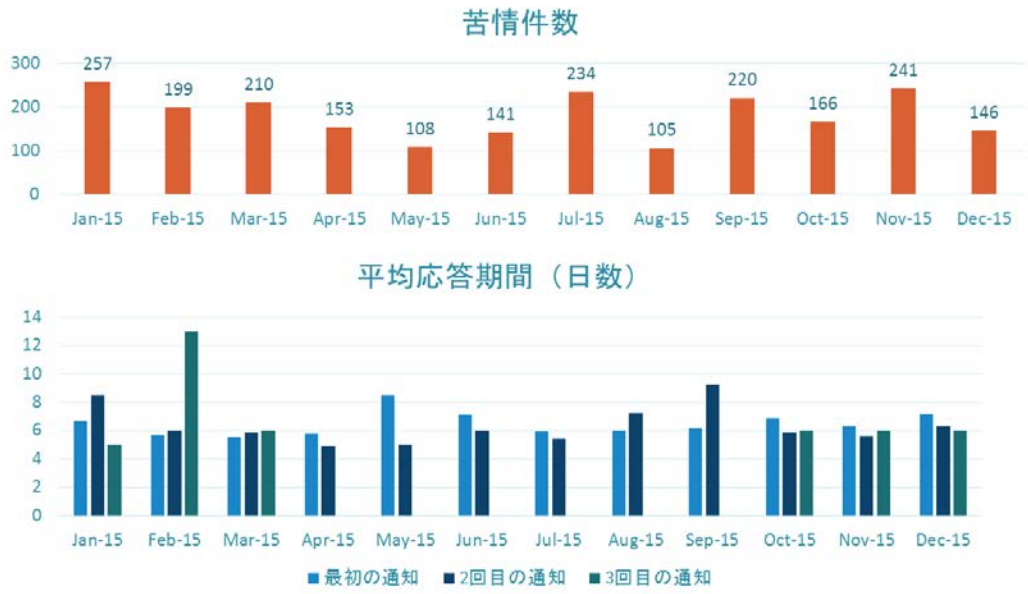
2015 年に実施されたパフォーマンス測定

以下のグラフは、2015年のパフォーマンスの要約です。また、一部は2014年のパフォーマンスとの比較です。パフォーマンス測定では、苦情の件数、応答時間（TAT）、解決率、顧客満足度、およびその他の契約遵守の関数が考慮に入れられます。なお、TATとは、契約当事者およびICANNがチケットを受け取ってから対応して解決するまでに要した平均時間です。

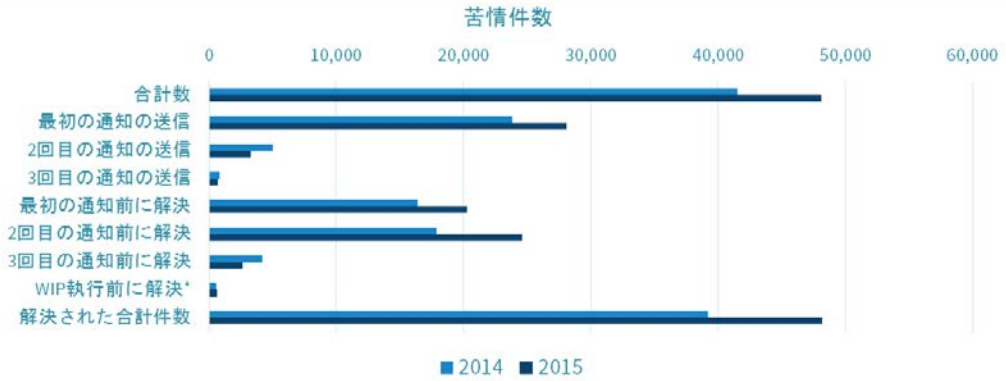
ICANNコンプライアンスチームのパフォーマンス報告のページ（https://features.icann.org/compliance）を参照してください。このページには、月次ダッシュボードおよび報告を通じて13か月間の契約遵守活動に関する情報が表示されます。

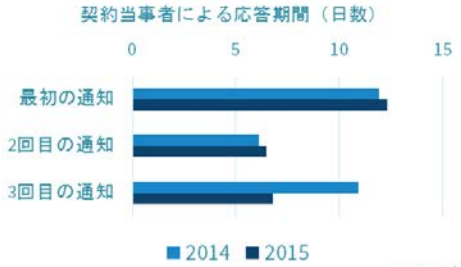
苦情の件数と応答時間（TAT）の傾向 - レジストラ

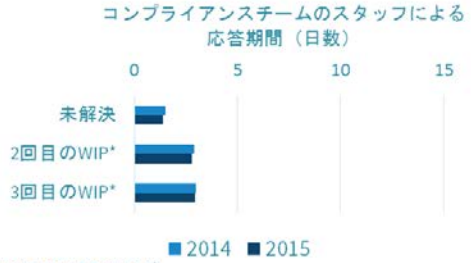
苦情の件数と応答時間（TAT）の傾向 - レジストラ



非公式通知に関する統計情報 – 2014年 / 2015年

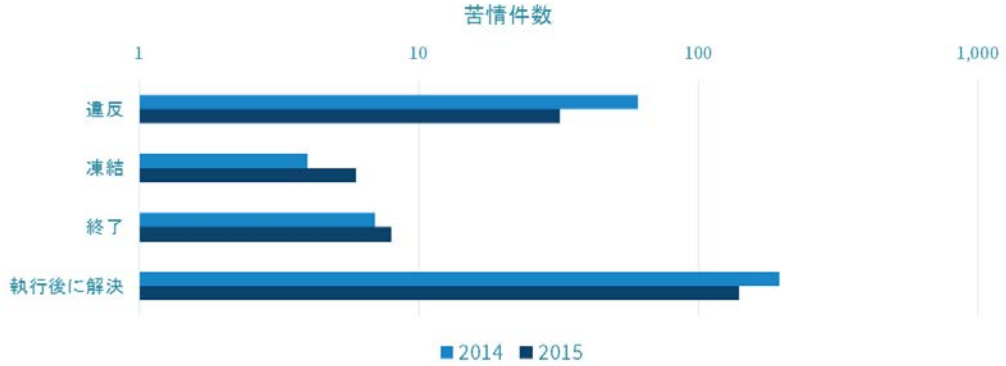


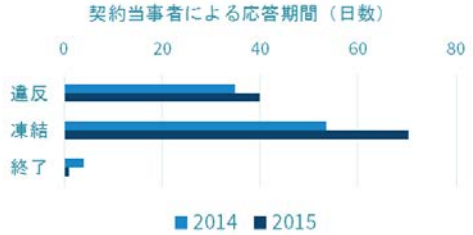


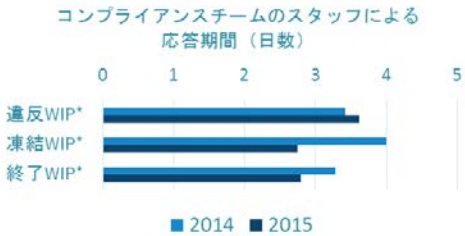


*WIP = 処理中（WORK IN PROGRESS）

正式通知に関する統計情報 – 2014年 / 2015年



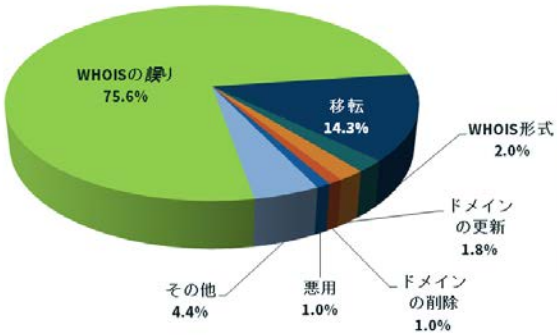




*WIP = 処理中（WORK IN PROGRESS）

レジストラに関する苦情のタイプ別件数 – 2015年度

苦情の内容



レジストラの平均応答時間	（単位：日）
最初の通知	12.7
2回目の通知	6.5
3回目の通知	6.7

正式な通知	#
違反	32
不更新	0
凍結	6
終了	8

免責事項：割合の切り捨てや切り下げにより合計が100%にならないことがあります。

タイプ	件数	最初の問い合わせ/通知の前に解決
悪用	438	267
CEO証明	34	1
顧客サービス	167	147
データエスクロー	427	0
DNSSEC、IDN、IPV6	17	16
ドメインの削除	441	425
ドメインの更新	818	391
通知の失敗	17	16
料金	88	14
プライバシー/プロキシ	35	29
レジストラの連絡先	122	59
レジストラの情報仕様	135	75
レジストラに関するその他の苦情	54	13
再販業者契約	11	0
移転	6,558	3,754
UDRP	210	132
WHOIS形式	905	703
WHOISの誤り	34,740	13,014
WHOISの品質確認	45	0
WHOIS SLA	356	361
WHOISが利用できない状況	308	146

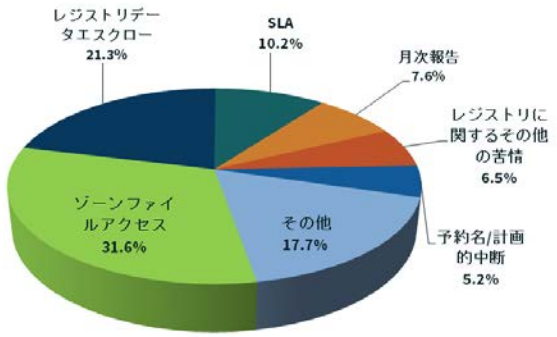
処理された苦情の合計件数 = 45,926

解決された苦情の合計件数 = 46,040

最初の問い合わせ/通知の前に解決した件数の合計 = 19,563

レジストリに関する苦情のタイプ別件数 – 2015年度

苦情の内容



レジストリの平均応答時間	（単位：日）
最初の通知	6.3
2回目の通知	6.7
3回目の通知	8.2

正式な通知	#
違反	0
不更新	0
凍結	0
終了	0

免責事項：割合の切り捨てや切り下げにより合計が100%にならないことがあります。

タイプ	件数	最初の問い合わせ/通知の前に解決
連絡先データの悪用	61	39
破産	0	2
BRDA	45	1
バルクZFA	27	1
クレームサービス	4	4
行動規範	64	16
不正行為	1	0
月次報告	165	3
PIC	20	19
レジストリデータエスクロー	465	147
レジストリ料金	80	2
レジストリに関するその他の苦情	142	71
予約名/計画的中断	113	61
RR-DRP	25	26
SLA	222	80
サンライズ	30	10
URS	27	21
ワイルドカードの禁止	1	1
ゾーンファイルアクセス	688	166

処理された苦情の合計件数 = 2, 180

解決された苦情の合計件数 = 2, 115

最初の問い合わせ/通知の前に解決した件数の合計 = 670

正式な通知のアクティビティ – 2015年度

通知	件数
違反	32
凍結	6
終了	8

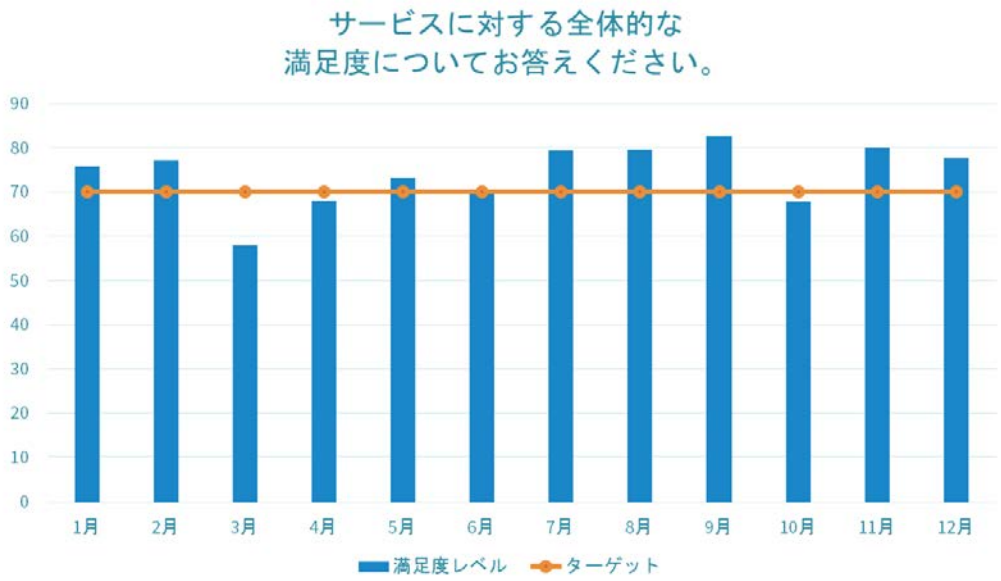
違反通知の理由*	件数*
問題通知の理由	166
• 修正済み	124
• 未修正	42

正式通知の理由（要約）	頻度
認定費用の支払い（RAA 3.9）	10.2 %
コミュニケーションレコードの保守と提供（RAA 3.4.2/3）	9.6 %
更新/請戻費用の表示（ERRP 4.1）	7.2 %
WebサイトへのICANNロゴの表示（RAAロゴライセンス補遺）	6.0 %
Whoisサービスの提供 (RAA 3.3.1)	6.0 %
違反報告を受け付ける電子メールアドレスをWebサイトで公開（RAA 3.18.1）	4.8 %
違反報告に関連するレコードの保持および提出(RAA 3.18.3)	4.2 %
違反報告の受理および追跡の手続きに関する説明をWebサイトで公開（RAA 3.18.3）	4.2 %
指定された応答形式でドメイン名データを提供（RAA-RDDS 1.4）	4.2 %
役員の名前と役職をWebサイトで公開（RAA 3.17およびRIS）	4.2 %
自動更新および削除に関するポリシーをWebサイトで公開（RAA 3.7.5.5）	3.6 %
期限前後の通知を行うために使用される方法の表示（ERRP 4.2）	3.6 %
その他 -** 付録B	31.9 %

*1件の違反に複数の通知理由が含まれている場合があります。
** 「その他」に分類されている正式通知の理由の詳細なリストについては、付録Bを参照してください。

免責事項：割合の切り捨てや切り下げにより合計が100%にならないことがあります。

2015年度の全体的な顧客満足度



ページ先頭に戻る

II. 2015 年度レジストラの契約遵守の概要

レジストラの契約遵守に関して言えば、2013 年版レジストラ認定契約（RAA）遵守の履行および監視を通年で行うのは、2015 年が 2 度目でした。契約遵守、スタッフのトレーニング、およびシステム更新という新領域に関連してレジストラおよびコミュニティメンバーとのアウトリーチが大幅に拡大した 2014 年と比較して、2015 年のコンプライアンスチームは、悪用および WHOIS の誤りに関する要件の変更など、特定の領域に重点を置きました。

2015 年コンプライアンスチームは、WHOIS 正確性報告システム（ARS）の複数のイニシアチブに関与しました。WHOIS ARS は、WHOIS の正確性について時間をかけて繰り返し評価を実施し、その結果を公表するための枠組みです。イニシアチブの代表的なものには、WHOIS ARS の試験導入の完了や、フィードバックおよび学んだ教訓の WHOIS ARS チームへの提供などがあります。コンプライアンスチームはこのチームと緊密に連携し、RAA および ICANN のプロセスと一致した第 1 段階と第 2 段階のテスト基準を作成しました。契約遵守の苦情処理システムは更新され、WHOIS の誤りの苦情に対するリソース処理が改善されているため、WHOIS ARS からの大量の苦情にも対応できるうえ、全体的なパフォーマンスも向上しています。WHOIS ARS の苦情は、チームによって 2 つ（WHOIS の誤りと WHOIS の形式）に分類されています。WHOIS ARS の詳細については、WHOIS ARS 第 1 段階の報告：構文の正確性 をご覧ください。第 2 段階の報告の草案は、このリンク https://www.icann.org/news/announcement-2015-12-23-enからアクセスしていただけます。

2015 年、コンプライアンスチームは引き続き、WHOIS 品質確認（QR）の監視を行いました。WHOIS QR では、契約遵守の義務が継続的に守られるよう、これまでに解決された WHOIS の誤りに関する苦情が審査されました。2015 年は 1 月から 6 月までの期間 1,209 件の WHOIS QR 審査が実施され、レジストラに再送信する必要があったものは 32 件でした（前年のレジストラによる対応件数から 50% 減少）。2015 年の WHOIS QR の結果として、1 件の契約遵守違反がレジストラに報告されました。

ICANN ポリシー策定プロセスへの参加

コンプライアンスチームは、2013 RAA WHOIS 正確性プログラムに関する仕様の審査（WAPS）、プライバシーおよびプロキシサービス認定問題（PPSAI）ワーキンググループ、レジストラ間移転ポリシー（IRTP）のパート C および D、Thick WHOIS の実施、追加 WHOIS 情報ポリシーと WHOIS アドバイザリ、および連絡先情報の翻訳および転写 PDP ワーキンググループなど、レジストラ関連の複数の ICANN ポリシー策定プロセス（PDP）に積極的に参加しました。

2015 年の最も一般的な問題

レジストラの契約遵守に関して ICANN が解決した最も一般的な問題を、以下に示します。

1.WHOIS の誤りについて説明します。

- レジストラが、2013 RAA の要件ではなく、2009 RAA の要件に従って WHOIS の誤りに関する苦情を処理している。
- レジストラが、2013 RAA の WHOIS 正確性プログラムに関する仕様の審査で義務付けられている WHOIS 情報の検証または評価ができない。
- レジストラが、レジストラントによる正確性の確認を提供するのではなく、苦情を受け取った ICANN に関連して WHOIS 情報が正確であることを確認するように再販業者に求めている。
- レジストラが、更新または変更された WHOIS 情報に関する文書を提供できていない。

2.悪用：

- レジストラが、悪用の報告に適切に対応するための合理的かつ迅速な手順を踏んでいない（少なくとも有効な苦情はレジストラントに転送される必要があります）。
- 2013 RAA はレジストラに対して、悪用に関する有効な苦情の対象である全ドメインを一時停止にすることを課していない。
- 法執行機関は、2013 RAA のセクション 3.18.1 に基づいて、管轄外のレジストラに対して苦情を提出する場合がある。
- 2009 RAA（悪用の苦情に関する要件が定められていない）に基づいたレジストラに対する悪用の苦情

3.移転、レジストラ間の移転ポリシー（IRTP）：

- 現レジストラが、登録名保有者以外の連絡先の AuthInfo Code（認証コード）を提供している。
- 現レジストラが、「レジストラ転送要求の確認」というラベルが付けられた許可用のフォーム（FOA）を送信していないか、そのフォームを登録名保有者以外の連絡先に送信している。
- レジストラが、IRTP に準拠していない FOA を使用している。
- レジストラが、登録名保有者に対して、ネームサーバー情報の変更時に必要な認証コードよりも厳格な移転用の認証コードを要求するための追加措置を講じることを要求している。

4.更新/請戻し、有効期限切れドメインの削除に関するポリシー（EDDP）、有効期限切れ登録の回復に関するポリシー（ERRP）：

- レジストラが、更新通知の送信に関して再販業者に依存しており、更新通知が実際に送信され、コピーが保持されているかどうかを確認していない。

- レジストラが、ERRP に定められた Web 掲載の義務を遵守していない。
- レジストラが、ERRP で義務付けられているように、削除前に DNS 名前解決パスを遮断してない。
- レジストラが、ドメイン名が有効期限を迎える日に（有効期限および更新にまつわる利用規約に関して、RAE の明確な情報を提供しないまま、）期限切れレジストラント（RAE）の名前を自社の子会社または再販業者に変更している。
- レジストラが、公共の WHOIS 情報に記載されているレジストラントまたは管理担当者に更新の通知を送信していない。

5.統一されたドメイン名の紛争解決ポリシー（UDRP）：

- レジストラが、UDRP 手続きの開始時に受信した検証要求への対応といった、UDRP プロバイダとの協力を行っていない。
- レジストラが、手続きに関係するドメイン名の状態を維持していないため、他のレジストラまたはレジストラントへの移転が可能になっている。
- レジストラが、UDRP プロバイダから UDRP に関する苦情を受領してから 2 営業日以内に、UDRP の対象であるドメイン名をロックしていない。
- レジストラが、UDRP プロバイダからの検証要求を受領してから 2 日営業日以内に、要求された情報を提供していない。

6.ドメイン登録に関するその他の問題：

- レジストラが、RAAによって必要とされる記録を保持しておらず、また再販業者が記録を保持していることや要請に応じて記録を提供できることも確認していない。
- レジストラが、レジストラントに送信したと主張している通信の写しをICANNに提供できない。

ページ先頭に戻る

III. 2015 年度レジストリの契約遵守の概要

2015 年、コンプライアンスチームは、2015 年 1 月以降新たに約 720 の gTLD を契約・委任し（2015 年末までに約 1,169 の gTLD が契約、委任されています。詳細は http://newgtlds.icann.org/en/program-status/delegated-strings を参照）、これまで委任されていた gTLD を新たなレジストリ契約に移行するなどして、拡張を続ける gTLD 空間の需要に対応しました。

コンプライアンスチームは年初からレジストリオペレータが年次証明書の要件および悪用対応連絡先情報の公開について契約遵守しているかの審査を開始しました。そして、レジストリ契約のその他の義務の遵守状況を、内部的監視、苦情の

処理、業界関係者のブログなどの外部ソースの監視を通じて、継続的に監視しました。2015 年にコンプライアンスチームが実施した処理で最も件数が多かったカテゴリのうちの 2 つは、ゾーンファイルに対する第三者アクセスに関する苦情およびデータエスクロー委託の監視でした。コンプライアンスチームの最新のパフォーマンス報告については、https://features.icann.org/compliance をご覧ください。

2015 年の最も一般的な問題

レジストリの契約遵守に関して ICANN が解決した最も一般的な問題を、以下に示します。

1.集中型ゾーンファイルサービスを介した第三者によるゾーンファイルへのアクセス

- レジストリオペレータが、ゾーンファイルへのアクセス要求に対応していない。
- レジストリオペレータが、レジストリ契約で認められていない理由でアクセスを拒否した。

2.日次のデータエスクロー委託

- レジストリオペレータが、頭金を適時に支払っていない。
- データエスクローエージェントが、エスクロー委託の毎日の通知を ICANN に送信していない。
- レジストリオペレータが、エスクロー委託の毎日の通知を ICANN に送信していない。

3.サービスレベル契約

- レジストリオペレータが、サービスの可用性とパフォーマンスに関して、レジストリ契約に基づいたサービスレベル契約（SLA）に達していない。

4.月次報告

- レジストリオペレータが、必要な月次報告を送信していない。
- レジストリオペレータが、形式や内容が適切な月次報告を送信していない。

ICANN ポリシー策定プロセスへの参加

2015 年、コンプライアンスチームは職能上の枠を超えた複数の取り組みも支援しました。支援の対象となった取り組みには次のものがあります。（1）公益のための誓約の紛争解決常任パネルのメンバー（現在メンバーは 7 名）の決定（https://www.icann.org/news/announcement-2-2015-06-03-enを参照）、（2）ICANN が 2015 年 9 月に発表した継続的運用手段（COI）の修正サービスの確立（https://www.icann.org/news/announcement-3-2015- 09-15-enを参照）、（3）レジストリオペレータへのサービスレベル契約監視アラートの伝達プロセスの策定。

上記に加え、Thick WHOIS の実施、すべての gTLD における IGO および INGO 識別子の保護、治癒的権利保護メカニズムへの IGO-INGO アクセス、競争/消費者の信頼/消費者の選択の指標報告、権利保護メカニズムの審議、および新 gTLD に続く手続きなど、レジストリ関連ポリシーのさまざまな取り組みやワーキンググループにも参加しました。

ページ先頭に戻る

IV. 契約遵守のリスクと監査の更新情報

ICANN は、契約のさまざまな規定を遵守していない契約当事者の潜在的リスクについて　定期的な審議を実施しています。苦情の傾向および業界関係者のブログなどの外部ソースの監視に加え、審議の結果が、監査プログラムの更新および改定に盛り込まれます。

レジストラントとレジストリを対象にした ICANN 3 年監査プログラム

2015 年 5 月、ICANN は 3 年監査プログラムの 3 年目を終了しました。結果、サンプリング対象の 92%が契約を遵守していました。

3 年目に 316 のレジストラおよび 5 つのレガシーgTLD レジストリが、監査への参加を要請する情報要求通知を受信しました。316 のレジストラのうち、311 が元々存在していたレジストラで、残りの 5 つは 2 年目から更新したレジストラでした。

共同所有で、技術的にも運用面でも前年まで監査されていたレジストラと同じように運用されているレジストラは、監査を免除されることが許可されていました。過去に監査を受けたレジストラのファミリの一部ではないレジストラが、共同所有であり、技術的にも運用面でも現在の監査の対象となっている他のレジストラと同じように運用されていた場合、当該のレジストラは、監査でそのファミリグループを代表するレジストラを 1 つ選択することができました。

監査プログラムの 3 年目には、180 のレジストラが上記基準を満たしていたために、監査から除外されました。同数のレジストラが 2 年目に同じ基準に基づいて監査から除外されました。

2 年目は 11 のレジストラであったのとは対照的に　3 年目は計 14 のレジストラに対して違反通知が発行されました。10 のレジストラについては、違反の後に自主的に契約を終了したか、違反に対応しなかったために契約が終了されたかのいずれかです。これとは対照的に、2 年目は 1 つのレジストラは違反の後に自主的に契約を終了し、2 つのレジストラは違反に対応しなかったために契約が終了されています。

総合すると、監査の結果として特定された問題の修正について、契約当事者はプロアクティブに対応していました。詳細は、2014 年契約遵守 3 年目の監査プログラム報告書 を参照してください。

ICANN レジストラ監査プログラム

2015 年 9 月、ICANN は、2013 RAA で課された義務に重点を置いた拡大版のレジストラ監査プログラムを開始しました。最初のサンプリング対象は、レジストラントとレジストリを対象にした ICANN 3 年監査プログラムの 3 年目に一部修正された報告書を受け取った 5 つのレジストラと、以下の基準で選択された 62 のレジストラで構成されていました。

- これまで監査対象ではなかった契約当事者
- 管理下にあるドメイン数あたりの 3 回目の通知の数が最も多い契約当事者
- 過去 12 か月間に違反通知を受け取った契約当事者
- 失敗したデータエスクロー委託の数が最も多い契約当事者
- ICANN の要求への応答性が高い契約当事者

詳細については、以下のリンクを参照してください。
https://www.icann.org/resources/pages/audits-2012-02-25-en

ICANN の新たなレジストリ監査プログラム

ICANN は 2015 年 7 月、新レジストリ契約ならびに ICANN テンポラリポリシーおよびコンセンサスポリシーの条項に対する新 gTLD の遵守状況をテストすることを目的とした、2 回目の新レジストリ監査プログラムを完了しました。今回の監査には 11 の gTLD が選択されました。今回の監査では、サンプリング対象の完全遵守が確認されました。

公開された報告書については、以下のリンクを参照してください。https://www.icann.org/en/system/files/files/contractual-compliance-ra-audit-report-2015-31mar15-en.pdf

ページ先頭に戻る

付録 A：

システムへの影響を伴った契約遵守の取り組みと改善を支援するアクティビティの一覧を以下に記します。

- 要求に応じて報告者情報をマスキングすることにより、匿名による苦情の送信を自動化
- コミュニケーションテンプレートの用語を明瞭化かつ簡潔化
- チケットIDを取り込み、解決通知の件名を標準化
- 最初の問い合わせまたは通知から解決通知までにICANNが受信したすべての回答に対して、自動確認電子メールを送信
- 自動化された解決通知が適切なレジストラの連絡先に確実に送信されるようにする
- レジストラに未解決（および最近解決された）チケットに関する週次レポートを提供
- 「ICANNの問題」のために解決された苦情の解決理由コードをアカウントに追加
- compliance@icann.orgを苦情処理システムに組み込む －これにより、compliance@icann.orgの電子メールアドレスに寄せられる通信への対応の追跡、調査、および遂行が改善します。
- Thick WHOIS gTLD に対する WHOIS ルックアップを改善する。
- 未解決（および最近解決した）チケットに関するレジストラ週次ファイルを完成させる －このファイルは、未解決、および最近解決したチケットに関する情報を契約当事者に提供します。週次ファイルをリクエストするには、registrar@icann.org.まで電子メールをお送りください。
- さらなるスピード/自動化の改善 －解析スクリプトの最適化とテンプレートの自動化を含みます。
- 解決を明確化するため、解決通知に苦情の解決理由の概要を含めるように変更しました。
- 統一ドメイン名紛争処理ポリシー (UDRP) の苦情のWebフォームとテンプレートを、2015年7月31日付のUDRP向けルールの更新に合わせて更新しました。
- システムのセキュリティ上の脆弱性と機能改善に対応するため、ソフトウェアを更新しました。
- ICANNおよびコミュニティからのフィードバックに基づいて、テンプレートと解決理由コードを更新しました。
- WHOIS ARSインポートユーティリティに対応し、更新されたWHOIS ARSレポート形式に基づく契約遵守チケットを作成するため、契約遵守システムを更新しました。
- スタッフの手作業を削減するため、テンプレートをさらに自動化をしました。

付録 B：

「その他」のカテゴリに属する正式通知の理由の一覧を以下に記します。

「その他」の正式通知の理由
連絡先データの変更を通知(RAA 5.11)
ICANNのレジストラ教育情報へのリンクを表示（RAA 3.16）
レジストラントの利益および責任に関する仕様へのリンクをWebサイトで公開（RAA 3.7.10）
登録データのエスクロー(RAA 3.6)
違反報告の調査および対応(RAA 3.18.1)
ICANNのレジストラの権利と責任のWebサイトへのリンク(RAA 3.15)
RAA違反を21日以内に修正（5.5.4 RAA）
役員の名前と役職をWebサイトで公開（RAA 3.17/RIS 17）
Whoisの連絡先情報の評価および検証（RAA/WAPS 1、2、4）
監査への応答（RAA 3.14）
申し立て対象となるWhoisの誤りに対する適切な措置の実施（RAA 3.7.8）
ICANNへの文書と情報の提供（RAA 3.15）
コンプライアンスに関する証明書の完成と提出(RAA 3.15)
UDRPの遵守（RAA 3.8）
ICANNのレジストラの権利と責任のWebサイトへのリンク(RAA 3.15)
正確な最新の連絡先情報の維持（RIS/RAA 3.17）
通信用アドレスをWebサイトで公開（RAA 3.17/RIS 7）
15営業日以内にすべてのRAA違反を修正（RAA 5.3.4）
レジストラ情報仕様(RAA 3.17)で求められるWebサイト情報を維持および提供
レジストラ情報仕様(RAA 3.17)で求められるWebサイト情報を公開
RNHにドメイン名の移転を許可（IRTP 1)、または妥当な拒否理由を提供（IRTP 3）
現在の企業総合責任保険を維持（RAA 3.10）
第三者の商標またはサービスマークと同一または混同を引き起こすほどに類似するドメイン名による通信またはその使用を繰り返さないこと（RAA 5.5.2.4）
12か月間に違反通知を3回受ける（RAA 5.5.6）
エンティティがレジストラの株式、資産または事業における支配権を取得した旨を当該取得から30日以内にICANNに通知(RAA 5.9.2)
正確な連絡先情報の提示（RAA 3.16）
ERRPの要件2.1とのポリシーの整合性を確保
Whoisの連絡先情報の評価および検証（RAA/WAPS 2、4）